令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

都道府県名	青森県
市区町村名	中泊町
自治体区分	市町村

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
中泊町	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	教職員の働き方などにより、地域住民等の参画を得た学校行事の数が減少したことにより、町の子どもと地域住民とが交流する機会が減った。	放課後子ども教室の講師として、地域住民を依頼することで、町の子どもと地域住民が交流する機会を設けているが、学校ごとに配置する放課後子ども教室のコーディネーターを町教育委員会の職員が担っているため、学校によって充実具合に差が出る。	①廃止となった学校行事や町の特産品、町特有の文化などを取り入れる。 ②各小学校に設置する放課後子ども教室の講師として、地域住民に依頼する。	伝統・文化の継承を図りつつ町の子どもと地域住民との交流を促進する。	町内に在住する地域住民等を活用した教室の実施回数	67	%	80	87	3 ねぶた囃子・登山囃子・しとぎ餅作りなど、地域に伝わる伝統文化の体験を放課後子ども教室で実施し、子どもたちの地域の伝統文化への関心が醸成された。また、講師に地域住民を起用することで、世代間交流が図られた。 ただし、講師を引き受けている地域住民が高齢者が多いため、1回の教室で対応できる人数に限りがあり、今後は指導者の育成が重要である。